

「杉山邸」土蔵完成式を開催

3月20日、国登録有形文化財「杉山邸」（下本町）で、土蔵の完成式が開催されました。

明治時代に建築された土蔵は、老朽化が進んでいたため国の補助金を利用して、昨年10月から当時の原形に復旧するための改修工事を行い、この度完成しました。

式典には、広江町長をはじめ杉山幹夫さんや関係者が出席し、町長は「町の文化の発信地となるような活用をしていきたい」とあいさつ。杉山さんは「末永く有効に使ってもらいたい」と述べられました。

出席者らは土蔵を内覧し、式典後は野だてが行われお茶を味わいながら完成を喜び合いました。また、今回の完成記念イベントとして、笠松町ゆかりの戦国武将・森蘭丸の生きざまを薩摩琵琶で弾き語るコンサートが杉山邸内で開かれ、多くの方が聴き入っていました。

「杉山邸」は、昨年7月に所有者の杉山さんから、邸宅と裏庭の土蔵が町に寄贈され、現在、NPO法人「笠松を語り継ぐ会」がその管理にあたっています。



土蔵の完成を喜ぶ皆さん



時を刻むモニュメント時計塔

笠松みなと公園にモニュメント時計塔が設置されました

町生誕120年記念事業と笠松みなと公園の完成を記念して、笠松みなと公園にモニュメント時計塔が設置されました。3月29日には完成除幕式が開催され、町長、議長、検討懇談会会長と、松枝保育所および下羽栗保育所の園児らによる除幕セレモニーが行われました。

この時計は、高さが5.5mの三角柱の形をしており、公園面に設置されたレリーフには渡し船や石畳、トンボ池が、また道路面には笠松町マスコットキャラクターも配置され、町のシンボルとなる造りになっています。

また、公園駐車場側の入り口付近には、公園銘板も設置されました。

笠松みなと公園を利用される際は、ぜひご覧ください。

「わがまちを災害から守る」 使命を胸に 町消防団入団式

町消防団入団式が4月17日、コミュニティ消防センターで消防団員や関係者約120人が出席し行われました。

式では広江町長から「町民の生命、財産を守るため、一日も早く立派な消防団員となられることを期待しています」と式辞があり、岩田団長からは新入団11人と新役員に辞令が交付され、日ごろの消防活動に対する労をねぎらうとともに「いざという時のために、訓練などに頑張ってもらいたい」との訓示がありました。

続いて、来賓の田中県議会議員、田島町議会議員、山田町内会連合会長の皆さんから祝辞があり、団員は防火・防災の誓いを新たにしました。



新入団者を代表して宣誓する倉橋祐樹団員

新入団員は次の皆さんです。(敬称略)
(第1分団) 岩田幹男、浅野 剛、倉橋祐樹、川井亮広
(第2分団) 小鹿耕平、外村雄治、三田雅俊、金指一太郎
(第3分団) 川口佳大、松原茂洋、松原 孝